株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所　マザーズ
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株式の売買単位	100株
公告方法	公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.teraprobe.com/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-782-031
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency

ホームページのご案内

当社では、株主・投資家のみなさまにプレスリリースや決算説明資料などのIR情報をホームページで公開しております。是非、ご覧ください。

株式会社テラプローブ

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-17
TEL:045-476-5711
ホームページURL http://www.teraprobe.com/

証券コード:6627

ターンキーサービスで新たな価値を創造する

Tera Probe

第10期 中間ビジネスレポート

テラプローブビジネスレポート2014

ごあいさつ

みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2014年10月１日を持ちまして創業９周年を迎え、企業のひとつの節目である10年目をスタートいたしました。今日まで当社を支えていただきましたすべてのみなさまに心より御礼申し上げます。

さて、当上半期の当社グループが属する半導体市場は、スマートフォンの新製品の生産に伴い需要が増え、モバイル機器向け各種半導体製品や車載向け製品も好調に推移いたしました。

このような状況の下、当上半期における当社グループの業績は売上高が106億62百万円、営業利益は５億40百万円と前年同期と比べて大幅な増益となりました。しかしながら、青梅事業所で進めております事業の再構築に伴い事業構造改善費用296百万円を特別損失として計上したため、誠に遺憾ながら四半期の純損益につきましては１億14百万円の損失となりました。

下半期につきましては、青梅事業所の事業構造改善を完了させると共に、その他の既存事業についても新規ビジネスの獲得と、費用構造の改善を進めてまいります。また、当社で開発いたしました顔認証ソフトウェア･ライブラリ「Tera-Faces™（テラフェイシズ）」をはじめとする新規ソフトウェア事業の開拓も積極的に推進してまいります。

テラプローブは来年の創業10周年に向けて、一段と飛躍できるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

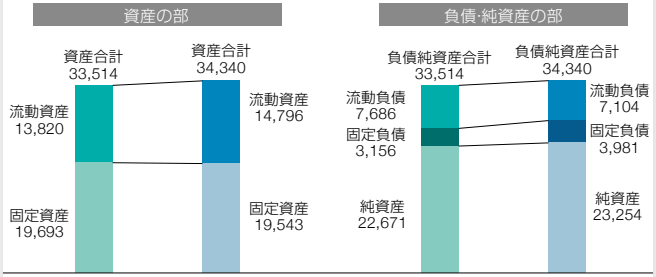
代表取締役社長 兼 CEO

渡辺雄一郎

連結財務諸表(要旨)

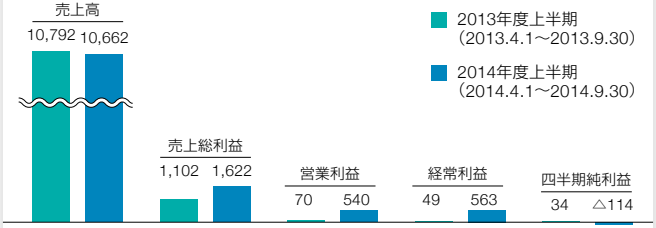
四半期貸借対照表

(単位:百万円)



四半期損益計算書

(単位:百万円)

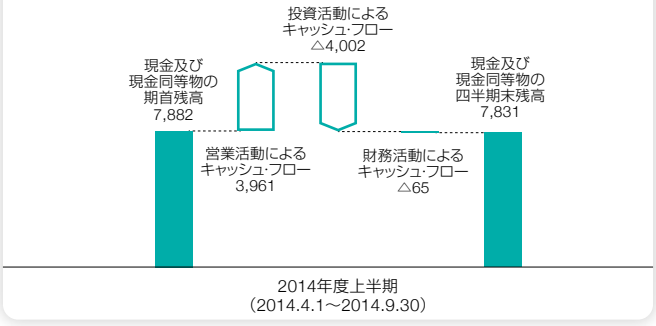


ポイント

- 台湾子会社における2015年3月期第2四半期の売上高がメモリ事業、システムLSI事業とも過去最高
- システムLSI事業のテスト受託は国内も四半期ベースで過去最高の売上高を記録

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



トピックス

組込み機器向け顔認証ソフトウェア・ライブラリ TeraFaces™ [評価版] 販売開始

当社では、組込み機器への顔認証技術導入を気軽に体験、評価を行いたいというお客様からのご要望にお応えするため、2014年7月よりTeraFaces™[評価版]を開発し、販売を開始いたしました。

TeraFaces™[評価版]をお使いいただくことで、お客様が社内における企画提案時のデモや、お客様製品への組込み試作・評価を容易に行うことが可能になりました。

熊本県に「くまモンと一緒」を寄贈

当社は熊本県に10月14日、顔認証の技術を活用したデジタルサイネージ(電子看板)「くまモンと一緒」を寄贈いたしました。

設置された場所は熊本市中央区手取本町の交流施設「くまモンスクエア」です。

©2010熊本県くまモン
【熊本日日新聞10月15日付朝刊】

来館者をカメラで捉え、顔を検出すると、モニター画面に映る来館者の頭や肩の上にくまモンの画像が現れます。

TeraFaces™のSTマイクロエレクトロニクス製マイコンへの対応

当社は、顔認証ソフトウェア・ライブラリTeraFaces™をARM®Cortex®-M4Fコア搭載のSTマイクロエレクトロニクス(以下、ST)製32bitマイクロコントローラ(以下、マイコン)に対応させました。

当社は、ST製マイコンにて動作するIPソフトウェアのパートナーとしてTeraFaces™を提供してまいります。

今後もより多くのお客様にTeraFaces™をご利用いただけるよう様々なマイコンへの対応を進めてまいります。

※ARM、CortexはARM Limitedの登録商標または商標です。

特集

TeraFaces™ (顔認証ソフトウェア・ライブラリ)とは

当社では、メモリ事業、システムLSI事業と言った既存の受託事業の拡大に加え、2014年2月から半導体デバイスに組込み可能なシステムに関する要素技術の研究・開発を行っております。

この度、開発ソフトの第一弾として発表した「TeraFaces™」とは、どのようなソフトウェアなのかご紹介いたします。

そもそも顔認証【face recognition】とは?

人間の体の特徴を利用するバイオメトリクス認証の一種です。顔認証は人の顔の画像データから特徴を抽出し、あらかじめ保存されたデータと照合することで個人を特定します。電子商取引や入退室管理、ロボットとのコミュニケーションにおける個人の特定などへの応用が期待されています。

具体的には、撮影した顔の画像から、傾きや位置を検出して補正し、特徴点(眼の中心、唇の端など)の位置や点同士の距離などを計測します。こうした特徴データを照合して個人を特定します。人の顔は髪形や表情、成長、老化、整形、病気、怪我によって日々変化しているため、実用化に際してはこれらに影響を受けず認証するための補正技術が大きな課題となります。

TeraFaces™はこの補正の課題を解決し、マイコンで世界最高クラスの顔認証率を実現しています。

TeraFaces™

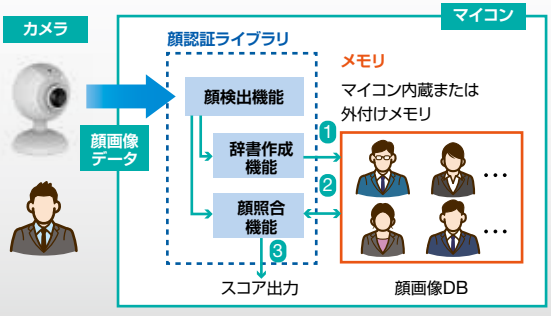
概要

PC不要!
マイコンで世界最高クラスの顔認証率実現 !!

PCベースで開発されたNEC社製顔認証エンジン(NeoFace)を、性能劣化なく組込み向けに再構築。

当社はそれまでPC環境が必要だった顔認証システムをマイコンに組込むことに成功し、組込み分野においても高性能な顔認証を可能にしました。

システム構成



※「NeoFace」は日本電気株式会社の登録商標です。

システムの流れ

1. 被験者の顔を検出し、顔画像データにインデックスを付与し、データベースに登録。
2. 被験者の顔を検出し、顔画像データをデータベース内の顔画像データと照合し、スコアを出力。
3. スコアが基準点をクリアすると、本人と特定。

TeraFaces™の応用分野

顔認証技術を応用したソリューション例

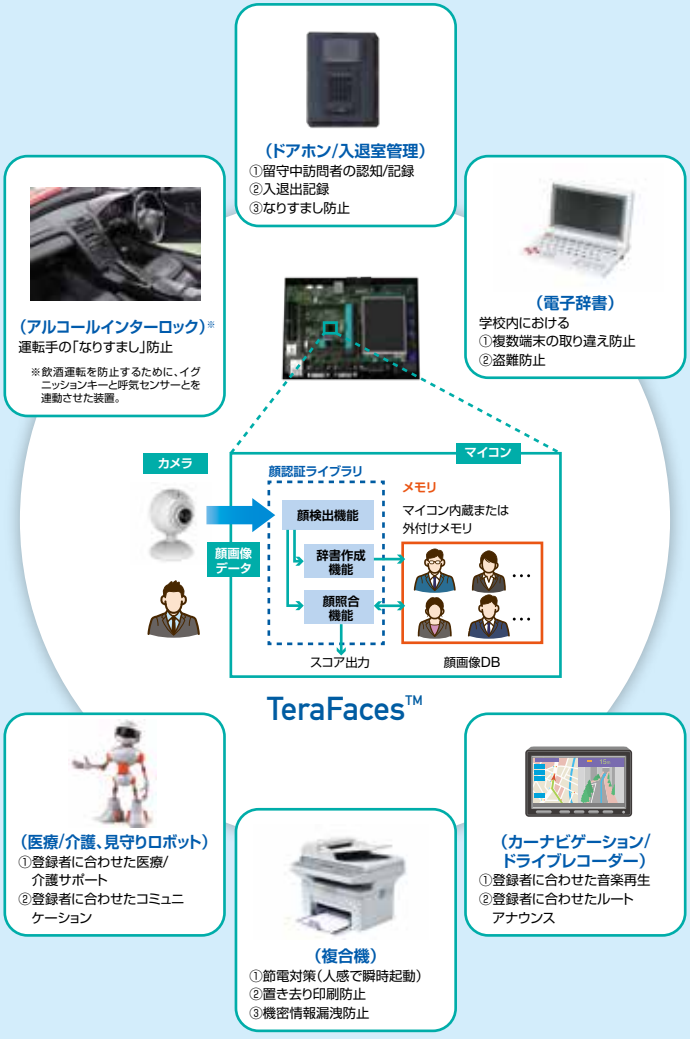
当社がご提供しますTeraFaces™の応用分野として、セキュリティ分野だけでなく、医療／介護分野、店舗等でのカスタマーサービス、コミュニケーション・ロボットをご紹介いたします。

顔認証技術を用いた新しいサービスの手法を実現いたします。

あなたに合ったサービスを提供する機器を実現

たとえば、行きつけのコーヒーショップでは…

その他の利用例



株式情報

2014年9月30日現在

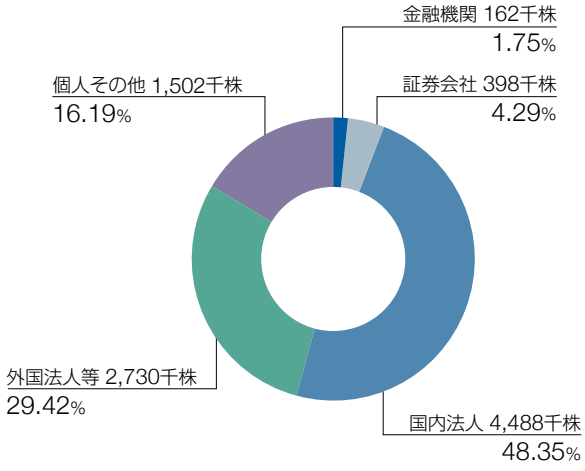
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	9,282,500 株
株主数	2,260 名

大株主

株主名	持株数	(%)
マイクロンメモリ ジャパン株式会社	3,680,000	39.64
MSIP CLIENT SECURITIES	1,077,100	11.60
株式会社アドバンテスト	760,000	8.18
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	686,199	7.39
UBS AG HONG KONG	305,800	3.29
株式会社SBI証券	201,900	2.17
神林 忠弘	120,100	1.29
ROYAL BANK OF CANADA TRUST COMPANY	98,000	1.05
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	91,201	0.98
日本証券金融株式会社	62,900	0.67

(注) 1. 持株比率は自己株式(83株)を控除して計算しております。
2. 持株比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況

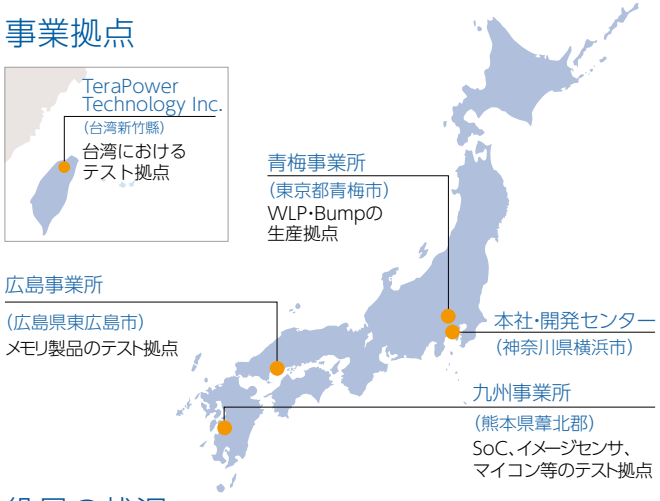


会社概要

2014年9月30日現在

社名	株式会社テラプローブ (英文:Tera Probe, Inc.)
設立	2005年8月
資本金	11,823百万円
従業員	434名(単体)、649名(連結)
事業内容	メモリ事業 DRAM等のメモリ製品のウエハテスト、ファイナルテスト、テストプログラム開発、WLP·Bumpの受託 システムLSI事業 SoC、イメージセンサ、マイコン等　各種半導体製品のウエハテスト、ファイナルテスト、テストプログラム開発、WLP·Bumpの受託 要素技術の研究/開発 最先端要素技術の研究、ソフトウェア製品開発/受託開発

事業拠点



役員の状況

代表取締役社長	渡辺 雄一郎 (わたなべ ゆういちろう)	常勤監査役	増子 尚之 (ましこ たかゆき)
代表取締役副社長	小平 広人 (こだいら ひろんど)	監査役	檜垣 修 (ひがき おさむ)
取締役	横山 毅 (よこやま つよし)	監査役	打越 佑介 (うちこし ゆうすけ)
社外取締役	萩原 俊明 (はぎわら としあき)		
社外取締役	福田 岳弘 (ふくだ たけひろ)		
社外取締役	森本 賢治 (もりもと けんじ)		